

本年度退職者

松本 礼二 教授 略歴・業績

1946 年 3 月 23 日 東京都杉並区生まれ

学 歴

1964 年 3 月 東京都立西高等学校卒業
1965 年 4 月 東京大学教養学部文科 I 類入学
1967 年 4 月 東京大学法学部第 3 類（政治コース）進学
1969 年 6 月 東京大学法学部第 3 類（政治コース）卒業
1969 年 7 月 東京大学大学院法学政治学研究科修士課程入学
1971 年 3 月 東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了
1971 年 4 月 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程進学
1972 年 3 月 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程中途退学

職 歴

1972 年 4 月 東京大学社会科学研究所 助手（1978 年 3 月まで）
1978 年 4 月 立教大学法学部 助手（1979 年 3 月まで）
1979 年 4 月 筑波大学社会科学系 専任講師（1982 年 3 月まで）
1982 年 4 月 早稲田大学教育学部 専任講師（1983 年 3 月まで）
1983 年 4 月 早稲田大学教育学部 助教授（1988 年 3 月まで）
1988 年 4 月 早稲田大学教育学部 教授
(2006 年度より教育・総合科学学術院（名称変更）教授)

海外留学・在外研究

1974 年 7 月～1976 年 7 月 パリ第 IV 大学（フランス政府給費留学生）
1984 年 9 月～1986 年 3 月 米国イェール大学（フルブライト研究員，ACLS 研究員）
1993 年 7 月～1993 年 8 月 米国ルイス & クラーク大学（早稲田＝オレゴン・プログラム派遣教員）
1999 年 4 月～2000 年 3 月 パリ大学社会科学高等研究院（交換教員）
2006 年 7 月～2006 年 9 月 パリ政治学院（交換教員）
2009 年 2 月～2009 年 5 月 ヴェネチア国際大学（派遣教員）
2009 年 6 月～2010 年 3 月 パリ政治学院（特別研究期間）

所属学会

日本政治学会，政治思想学会，日本アメリカ学会，Tocqueville Society

主要業績

〈単著〉

『トクヴィル研究～家族・宗教・国家とデモクラシー』1991年，東京大学出版会.

『トクヴィルで考える』2011年，みすず書房.

〈編注書〉

丸山眞男著『政治の世界他十篇』2014年，岩波文庫（岩波書店）

〈共著・共編著〉

『アメリカの社会と政治』（五十嵐武士，古矢旬と共編著）1995年，有斐閣.

『近代国家と近代革命の政治思想』（川出良枝と共著）1997年，放送大学教育振興会.

『トクヴィルとデモクラシーの現在』（三浦信孝，宇野重規と共編著）2009年，東京大学出版会.

〈雑誌論文〉

単著「フランス革命論の系譜 1789-1830」1978年，『社会科学研究』29-4.

単著「19世紀フランスと世代の問題—思想史のための試論」1980年，『筑波法政』3.

単著「フランス思想史におけるアメリカ問題 1750-1850」（上）1981年，『思想』681号.

単著「フランス思想史におけるアメリカ問題 1750-1850」（下）1981年，『思想』683号.

単著「トクヴィルの家族観」1984年，『社会科学研究』35-5.

単著「体験と理論—婚姻観をめぐって」（「トクヴィルをアメリカで読む」4）1986年，『みすず』308号.

単著 “Tocqueville on the Family” 1987年，*Tocqueville Review*, 7/8.

単著「フランソワ・フュレのフランス革命論」1989年，日本政治学会『年報政治学 1990』.

単著「知識人の時代と日本」1997年，『思想』872号.

単著 “From Model to Menace: French Intellectuals and American Civilization” 2004年，*Journal of American Studies*, 15.

単著「民主主義国は戦争をしないか——トクヴィルの戦争論・軍隊論の視点から」2005年，『政治思想研究』5.

単著 “Is Democracy Peaceful?; Tocqueville and Constant on War and the Army” 2007年，*Tocqueville Review*, 28-1.

単著「政治思想における古典の力～トクヴィル『アメリカのデモクラシー』を題材に」2008年，『思

想』1009号.

単著「『トクヴィルの憂鬱』の憂鬱」2014年、『思想』1077号.

〈単行本収録論文〉

単著「トクヴィルにおける啓蒙と宗教」(有賀弘・佐々木毅編『民主主義思想の源流』所収)1987年, 東京大学出版会.

単著「共和主義・自由主義・利益政治」(小川晃一・片山厚編『アメリカ憲法の神話と現実』所収), 1989年, 木鐸社.

単著「トクヴィル—革命とデモクラシーの考察」(藤原保信・飯島昇藏編『西洋政治思想史Ⅱ』所収), 1995年, 新評論.

単著 “Individualism, Association, and Civil Society: Tocqueville and the American Public,” H. Abe, H. Sato & C. K. Otsuru, (ed.), *The Public and the Private in the United States*, 1999, The Japan Center for Area Studies.

単著「リベラル・デモクラシーと自由」(『岩波講座世界歴史27』所収), 2002年, 岩波書店.

単著「戦後市民社会論再考」(高畠通敏編『現代市民政治論』所収), 2003年, 世織書房.

単著 “Tocqueville and Japan,” in Aurelian Craiutu & Sheldon Gellar, (ed.), *Conversations with Tocqueville*, 2009, Lexington Press.

単著 “A Historical Reappraisal of Civil Society Discourse in Postwar Japan,” in Terrell Carver and Jens Bartelson (ed.) *Globality, Democracy and Civil Society*, 2011, Routledge.

単著 “Tocqueville and Democracy in Japan,” in Christine Dunn Henderson (ed.), *Tocqueville's Voyages: The Evolution of His Ideas and Their Journey beyond His Time*, 2014, Liberty Fund.

単著「翻訳と政治思想——トクヴィル『アメリカのデモクラシー』の場合」(西永良成・三浦信孝・坂井セシル編『日仏翻訳交流の過去と未来——来るべき文芸共和国に向けて』所収)2014年, 大修館書店.

〈エッセイ, 紹介〉

単著「イェール大学トクヴィル文書について」(「トクヴィルをアメリカで読む」1), 1985年, 『みすず』296号.

単著「二つのトクヴィル学会から」(「トクヴィルをアメリカで読む」2)1986年, 『みすず』303号.

単著「女性史研究とトクヴィル」(「トクヴィルをアメリカで読む」3)1986年, 『みすず』307号.

単著「思想の言葉—知識人の時代としての二〇世紀思想史」1994年, 『思想』844号.

単著「トクヴィル生誕二〇〇年とデモクラシーの現在」(国際シンポジウム: フランスとアメリカ, 二つのデモクラシー), 2005年, 『思想』979号.

単著「トクヴィル研究四〇年」(「21世紀に読むトクヴィル」1, 2)2009年, 『みすず』573, 574号.

- 単著 “What Is Virtuous Materialism?” (「21 世紀に読むトクヴィル」3) 2009 年, 『みすず』576 号.
- 単著 「平土間から天井桟敷へ—トクヴィルの演劇論について」 (「21 世紀に読むトクヴィル」4) 2010 年, 『みすず』582 号.
- 単著 「二つの伝記的研究 その(一) — Hugh Brogan, *Alexis de Tocqueville, A Life* (Yale University Press, 2007)」 (「21 世紀に読むトクヴィル」5), 2011 年, 『みすず』595 号.
- 単著 「二つの伝記的研究 その(二) — Lucien Jaume, *Tocqueville, Sources aristocratiques de la liberté* (Fayard, 2008)」 (「21 世紀に読むトクヴィル」6), 2011 年, 『みすず』596 号.
- 単著 「政治思想のガラパゴスの進化について」, 2011 年, 『UP』463 号.

〈書評〉

- 単著 “*Chusei to Hangyaku—Tenkeiki Nihon no Seishinshiteki Iso* (Maruyama Masao, *Loyalty and Revolt: An Intellectual History of Japan’s Modern Transformation.*”) 1993, *Japan Foundation Newsletter*, 21-24.
- 単著 「十九世紀フランスにおける国家と宗教, そして宗教学の成立——伊達聖伸『ライシテ, 道德, 宗教学』に寄せて」, 2012 年, 『東洋学術研究』51 巻 2 号.

〈翻訳〉

- トクヴィル『アメリカにおけるデモクラシー』(岩永健吉郎と共訳), 1972 年, 研究社.
- アイザイア・バーリン「ジョセフ・ド・メストルとファシズムの起源」(福田欽一・河合秀和編『理想の追求—バーリン選集 5』所収), 単独訳, 1992 年, 岩波書店.
- スティーヴン・ホームズ「戦争と惨禍の時代にトクヴィルをどう読むか」単独訳, 2005 年, 『思想』979 号.
- トクヴィル『アメリカのデモクラシー』第一巻上・下, 第二巻上・下, 単独訳, 2005 年, 2008 年, 岩波文庫 (岩波書店).